令和5年度 熊本県中学校総合体育大会（サッカー競技）
競技規則および申し合わせ事項についての共通理解（案）

2023.2

熊本県サッカー協会3種委員会 審判部

1.日本サッカー協会制定の「2022/2023サッカー競技規則」および本大会要項を適用する。

【選手の用具】

2.本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しな
ばならない。

3.正・副の2色については明確に異なる色とする。

4.主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのも
その試合において着用するユニフォームを決定する。

5.前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判
すい組み合わせを決定することができる。

6.ユニフォームは、1～99までの番号を準備すること。選手の背番号は、大会を通じて選手固有のものとする。ショーツに番
付いている場合は、シャツと同じ番号とする。

7.チームの事情によりフィールドプレーヤーがゴールキーパーを務める場合は、フィールドプレーヤーのときと同じ番号のゴ
ーパーユニフォームで出場すること。PKのときも同様である。

8.負傷によりフィールドプレーヤーがゴールキーパーを務める場合は、自チームのキーパーシャツを借りてプレーすることを
る。

9.ユニフォームの番号を貼り付ける場合、布地や番号の色は元の色と同じ色にすること。

10.ストッキングは膝が見えるように折ってはくこととする。《九州中体連申し合わせ事項》

11.アンダーショーツやタイツを着用する場合は、主な色がショーツの主な色と同色、またはショーツの裾の色と同色とする
チームの競技者は、同色のものを着用しなければならない。

12.ゴールキーパーは、トラックスーツのパンツ、帽子を着用することができる。

13.ヘッドギア、フェイスマスク、また、膝や腕のプロテクターなど危険でない保護用具で、柔らかく、軽いパッドが入った材質
できているものは、ゴールキーパーの帽子やスポーツめがねと同様に認められる。保護用具をつける選手は、試合前に主
承認を得ること。

14.セパレートのソックスにおいては、テープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、それは
する、または覆う部分のソックスの色と同じものでなければならない。（別紙参照）

【競技者の交代】

15.ペナルティーマークからのキックの前または進行中にゴールキーパーがプレーを続けられなくなったとき、そのチームが
会規定に定められた最大数の交代を完了していなければ、氏名が届けられている交代要員と交代できる。

【試合時間】

16.試合開始5分前に本部前に集まること。

17.ハーフタイムのインターバル5分と、飲水タイム1分を、超えないようにすること。

18.クーリングブレイク時は、3分間必ずテントに入れることにする。競技者以外はビブス等を着用すること。

19.延長戦前は3分間、PK戦前は1分間のインターバルをとる。延長戦のハーフタイムのインターバルでは、1分間の水分補
時間を取ってもよい。

【その他（お願い）】

20.競技中に交代要員がウォーミングアップを行う場合は、ベンチの後方または脇とし、競技中の選手と異色の服装（ビブ
で、ボールを使用せずに行う。また、ウォーミングアップをしていないときは、ベンチに座らせてください。

21.審判員や他チームの批判・中傷を報道関係者にしたり、インターネット掲示板に書き込んだりしないように生徒たちに指
をお願いします。

22.選手・指導者・応援者がリスペクトの精神を重んじて試合に臨みましょう。